



令和元年7月29日
～美ら島の未来を拓く～
内閣府沖縄総合事務局

MaaS元年、八重山の交通が変わる！

～八重山 MaaS 化事業が始動～

- 国土交通省においては、MaaSなどの新たなモビリティサービスの推進を支援する「新モビリティサービス推進事業」について、今年度19事業を選定したところで、管内からは、八重山MaaS事業連携体（構成員：TIS株式会社、沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社、株式会社JTB沖縄、株式会社琉球銀行、一般社団法人八重山ビジターズビューロー、石垣市、竹富町）が提案した「八重山MaaS化事業」（別紙参照）が選定されております。
- 今般、沖縄総合事務局より八重山MaaS事業連携体に対し、下記により「新モビリティサービス推進事業」交付決定通知書を手交いたします。
- これにより、いよいよ「八重山 MaaS 化事業」が始動し、11月頃より実証がスタートします。

記

日時：令和元年8月1日（木） 11:00～

場所：内閣府沖縄総合事務局運輸部長室

（※1）MaaS…“Mobility as a Service”の略。出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念

（※2）日本版 MaaS の展開に向けて地域モデル構築を推進！

～MaaS元年！先行モデル事業を19事業選定～ （国土交通省 HP）

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000150.html

【問合先】

沖縄総合事務局運輸部企画室 三宅・崎濱・桑江

TEL 098-866-0031（内線 85242）

FAX 098-860-2369

【実験の概要】 沖縄県八重山地区(石垣市・竹富町)にて、**地域DMO、旅行会社、地銀、通信会社が一体となり**複数交通モードの情報・オペレーション・交通サービスの連携性・利便性向上のため**MaaSサイト・アプリとシステムを構築**、公共交通分担率の向上と商業・観光施設等への送客を目指した**観光地型MaaSを実現し、他型のMaaSへの将来展開が可能な基盤として有用性を検証**する

【協議会等の構成員】

- ✓ 八重山ビジターズビューロー
- ✓ 石垣市
- ✓ 竹富町
- ✓ 沖縄セルラーアグリ&マルシェ
- ✓ JTB沖縄
- ✓ 琉球銀行
- ✓ TIS

別紙2

【地域の交通課題】

	地域交通 「地域の足の確保」	観光交通 「レンタカー事故等の増加」
発生している交通課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石垣市の自家用車利用率が57.7%で公共交通分担率が低い ・ 石垣市では採算性低下による循環バス廃止以降、公共交通空白地が拡大 ・ 高齢化が進行し事故の増加が懸念 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行者のレンタカー利用割合は51.0%と公共交通の分担率が低く、レンタカー事故の増加、離島ターミナル駐車場の混雑等の課題が発生
課題の要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通網形成が不十分であり(バス運行本数・時間数・他交通との連携など)、地域全体での交通の最適化・連携が図られていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離島に行くほどに現地の交通情報が乏しく、一括した情報収集が困難 ・ 各モード窓口等で都度現金購入・発券等手続きが必要な、煩雑なオペレーション ・ 事前の予約・決済が可能なモードは限定的

【実験内容】

(実証期間) 2019年11月～2018年2月を予定

(対象地域) 石垣市、竹富町

(参画事業者) 上記地域で現時点で11社参画意向

八重山MaaSサイト・アプリでのワンストップでの最適商品情報の提供および予約・販売機能の有用性の検証

a. 旅程に合った交通等商品の造成(パック含)

MaaSレベル3実証のため、定額制サービスや事業者をまたいだパック商品を作成(複数交通モード+商業クーポン等)、利用者検索内容等に応じ推奨・提供する

b. サイト・アプリでの連携された情報の提供

複数交通事業者をまたいで路線・商品サービス/時刻表/運賃/運行情報等を**連携させ提示**する(船舶、バス、タクシー等)

c. 予約・決済、電子チケット発券機能の提供

上記aについて、**事前の予約・販売およびデジタルチケット機能**を提供する(安価・簡易に読取可能)



※ 上記サービスのデータ連携、オープン化を実現するため、セキュリティ、利便性を考慮したインターネット接続によるAPI連携を実現

【本格的な導入に向けた検証項目、目標値】

- a. 実証期間中の八重山MaaSサービス購入・利用者数 5,000人
- b. 増客効果(当該サービスにより移動サービスを利用した者の割合) 10%
- c. 利用サービス増加効果(当該サービスにより訪問先を増加した者の割合) 10%
- d. 利用者レポート希望率(次回訪問時も当該サービスを利用したい者の割合) 50%